

学校週五日制の始まりにあたり、  
県北管内の各市町村教育委員会や関  
係機関では子ども達自身が選択でき  
る各種イベントや施設開放を計画し  
実施しました。

校内の多目的ホールを開放したA  
小学校には、十八名の低学年の児童  
が来校していました。

子ども達はそれぞれ二〜三人のグ  
ループを作り、歓声をあげながらバド  
ミントン、フリスビー、模型づくり、ま  
まごと、絵画、紙しばい等々の活動に  
夢中になっていました。この日、遊び  
に使う用具等は各自自分で持参した  
とのことでした。

保護者である指導員の方二名は絵  
を描く子の世話や紙しばいをしてい  
ましたが、かたわらで校  
長、教頭先生も指導員が  
活動しやすいように用具  
の準備等の援助をしてい  
ました。

その楽しそうな雰囲気  
は、仲良しグループで遊ぶ  
ことが如何に良いものか  
を示すものであり、今後、  
家庭や地域での活動にお  
おいに参考になるものと  
強く感じました。

「さあ遊ぶぞ……」  
(A小学校 多目的ホールにて)



「それっ」「おっと、あぶない……」  
(B小学校 ドッチボール)

またB小学校では校庭で十数名が  
二組に分かれドッチボールに取り組  
んでいました。ここにも指導員の方が  
二名ほどついて時に声援を送ったりし  
て見守っていました。上手な子がや  
や不得意な子をおもいやつてやさし  
くボールを投げているのが印象的  
でした。

この日は天候にも恵まれ、地域の  
神社では小学生が高齢者の方にゲー  
トボールを教えてもらって、いっしょに  
プレイしたりもしていました。その  
他、公園やちよとしたあき地でも子  
ども達の遊んでいる姿を見かけまし  
た。戸外に出ている子ども達の数は長期  
休業や祝日、日曜よりはるかに多く、  
その表情はいずれも明るく、楽しそう  
な雰囲気が感じられ、まさに学校週

五日制のスタートにふさわしい「充実  
した土曜日」となりました。

今日は楽しかったね！

県立養護学校

どのような集団となるのかどのよ  
うな活動の展開となるのか様々な思  
惑をこめて四つの葉学級学校五日制  
による休業日の活動(母体)スタートの  
日を迎えました。

開始一時間前の八時頃から来てい  
る家族もありましたが、本校児童生  
徒十一名とその兄弟七名、指導員、ポ  
ランティア十六名の総勢三十四名が、  
それぞれ思い思いののんび  
りとした気分で養護・訓練室  
に集まってきました。

学校長から、元気で楽し  
く過ごすこと、生活のよい体  
験となるようにすることの  
お話があつて活動を開始し  
ました。

まず「音楽遊び」による準  
備体操を親子で行いまし  
た。それぞれが体に合せて、声を出  
しながらゆつくりペースでやりまし  
た。

次は「ふうせんバレーボール」です。  
同伴の兄弟が、ふうせんをよるこんで  
ふくらませてくださいました。相応のルー  
ルができた、相手を考えた工夫や応



援があつて、集団の遊びの効果が見ら  
れました。K君のお母さんのオルガン  
伴奏で、みんなが歌を歌いゲームのま  
とめとしました。

そして、久山翠さん朗読の子ども  
の詩を鑑賞しながら昼食の用意をし  
ました。遠足気分、にぎやかに食事  
をしながら次回の活動が中心話題と  
なりました。指導員気分が十分にう  
かがえて、この活動に見通しがもてる  
ようになったと実感しました。

最後に、後日寄せられた感想の二つ  
をご紹介します。

四つの葉学級に参加して  
とてもよかったですと思いまし  
た。「お母さん仕事だから  
……」と云つて聞かせると  
「おばあちゃんの家にいる  
からいいよ」と云っていました。  
でも、せつかく遊べる場  
を作っていたいだいたのだから  
と仕事を休みました。

帰りの車の中で「今日は楽しかった  
ね。ばあちゃんの家よりいいね」と  
言われた時、会社へ行こうと思つたこ  
とを反省してしまいました。ずっと参  
加したいです。